

高山植物を10倍楽しむ



クルマユリ

講師：尾関雅章氏（県環境保全研究所）

1月14日（土）午後1時30分～3時



ハクサンゴザウリ

場所：飯田市美術博物館講堂 聴講無料（申込不要）



ハクサンイチゲ

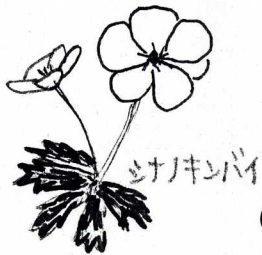
○信州・高山植物のホット・スポットはどこ？



シロクマアサギ

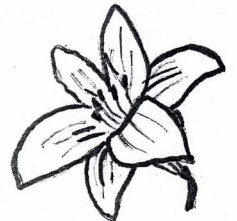
○地質が違くと高山植物も違う

○高山植物の開花は雪が決め手



シナキンバイ

○気候変動で高山植物はどうなるの？



ニッコウキスゲ

「長く険しい樹林のなかの道を歩き、森林が途切れたと思うと、突然目の前に広がるお花畑やハイマツの海。そのお花畑を彩る色鮮やかな高山植物は、登山するものにとって大きな楽しみ・魅力です。

信州の山々の魅力の一つに、稜線を境にお花畑の様子が一変したり、足下の岩の種類が違くと高山植物の種類が違ったりと、一つの山でも、多種多様な高山植物を一度に楽しむことができる点があります。これは、山々の複雑な地質・地形や豊富な雪に支えられた信州の高山植生の大きな特徴です。

今回の講座では、信州・花の名山を探したり、高山植物の暮らしぶりを考えながら、信州の山にみられるお花畑と地質の複雑さや地形、雪と関わり・つながりを読み解きたいと思います」（尾関氏）

お問い合わせ 飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL0265-22-8118 FAX0265-22-5252

<http://www.iida-museum.org/>

次回の自然生物講座は 2月4日（土）米山富和（当館専門研究員）の「伊那谷を渡る鳥と標識調査」です